

平成26年度事業評価（事前評価）技術検討会議事概要

平成26年度事業評価技術検討会は各委員の日程調整ができなかったため、持ち回りで意見を聴取した。

日時：平成27年3月9日（月） 16:00～16:45

場所：森林総合研究所四国支所

出席者 事業評価技術検討会 委員 酒井 敦（人工林保育チーム長）
事業評価検討委員会 事務局 川口 監査官
説明担当者 長崎森林育成係長、東野路網計画係長

日時 平成27年3月10日（火） 10:00～10:55

場所 高知大学農学部

出席者 事業評価技術検討会 委員 笹原 克夫（高知大学農学部教授）
事業評価検討委員会 委員 都留森林整備課長
説明担当者 長崎森林育成係長、東野路網計画係長

日時 平成27年3月10日（火） 13:10～13:50

場所 高知工科大学マネジメント学部

出席者 事業評価技術検討会 委員 渡邊法美（高知工科大学マネジメント学部教授）
事業評価検討委員会 委員 都留森林整備課長
説明担当者 長崎森林育成係長、東野路網計画係長

1 事前評価：森林環境保全整備事業（高知森林計画区）

各委員には、説明担当者から資料により説明

各委員の主な意見

- 森林整備については、森林の持つ多面的機能の発揮のために必要である。
- 高知森林計画区の三嶺地区周辺はニホンジカによる被害の著しい箇所であり、事業の実施にあたってはシカ害対策を考慮すべきである。
- 造林の評価期間の中で整備期間を除いた期間について、便益が一定となっているが、森林の成長により便益が変わるのではないか。次回以降の技術検討会では、これらの評価手法についても説明願いたい。

以上